

小学生の交通事故の特徴は？



年齢は…

時期は…

7歳が最多！

5月に多発！

大阪府警察調べ(2019年中)

飛び出しが最多



全体の約35%(歩行中)

自宅近くで多発



約5割が自宅から500m以内

下校後に多発



多発時間帯:午後4時~午後6時

どのように教えたらいいの？



①具体的に教える

「気をつけて」など抽象的な言葉ではなく、実際に道路を一緒に歩き、危険な理由を具体的に教え、お手本を示してあげましょう。

青でも車が走ってくるかもしれないから、周りの安全を確かめてから渡ろうね！



②繰り返し教える

基本的な正しい行動や応用を身につけるため、繰り返し指導し、子供が理解できているか確認しましょう。

保護者の皆様が子供にとって「**最良の指導者**」です。良いお手本を示して、子供に交通安全を身につけさせることで、子供の大切な命を守りましょう。

子供と一緒に通学路を歩き、危ない箇所を点検しましょう！



上記出典：大阪府警本部 交通総務課

「もっと知りたい！こどものための交通安全だより」令和2年新入生特別号 一部抜粋

高槻市内で発生した小学生の交通事故は、子どもが乗った自転車と自動車の出会い頭の事故が交差点付近で多発しています。

交差点付近に立って活動する方は、子どもや活動いただいている皆様が交通事故にあわないためにも、自動車等の安全確認をお願いいたします。

高槻市教育委員会事務局学校安全課